

和牛のオリンピック開催 十勝勢が躍進

和牛のオリンピックとも呼ばれる第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会（全国和牛登録協会主催）が10月6～10日、鹿児島県霧島市などで開かれた。全国の和牛産地がブラン

ドの威信を懸けて臨む5年に1度の大会に、道代表として十勝の19頭が出て、2つの出品区の6頭が全国3位となる優等賞3席を獲得。3位以内は道勢としては4大会ぶり、十

勝勢としては初めての快挙で、5年後の北海道大会に向けて弾みが付く結果になった。



次回開催地代表として閉会式に訪れた鈴木直道知事を囲む北海道出品団。「チーム北海道」のまとまりで存在感を見せ、道大会に弾みを付けた(10月10日)



開会式で堂々と入場行進する北海道出品団。旗手は宮前裕司副団長(池田町)が務めた(10月6日)



特別区(高校・農業大学校)で優等賞7席に入り観客席の声援に応える道立農業大学校の学生たち



会場には十勝管内から大勢の関係者が駆け付けて応援



真剣な表情で審査に臨む十勝の出品者



催事会場では5年後の北海道大会をPR



共進会場に隣接した催事会場では全国の和牛の試食や鹿児島県の物産販売、協賛社の出展ブースが並んだ



優等賞3席を獲得し、上り旗をなびかせながら牛舎に戻る十勝の出品団